

# 第8回研究集会（沖縄）

～インクルーシブ教育のシステム構築のために、今、通常の学級でできること～



「はいさ～い（こんにちは）！」

この「めんそ～れ通信」は、第8回研究集会（沖縄）の開催に向けて、多くの会員の皆様へ、魅力ある情報をお伝えいたします。

\*「めんそ～れ」：沖縄方言で「いらっしゃい」

今年度、沖縄県で開催される「第8回研究集会」では、大会テーマを「インクルーシブ教育のシステム構築のために、今、通常の学級でできること」としました。

また、シンポジウムでは、大会テーマをさらに深掘りするため、2部に分けました。

第1部テーマ：「個別最適な学びの保障を実践例から考える」

第2部テーマ：「通常の学級における子どもの学びを支える授業の在り方を考える」

学校現場では、通常の学級における支援を必要とする子どもたちへの指導・支援の具体的なアプローチの在り方について関心が寄せられています。

第8回研究集会（沖縄）は、以下のプログラムを設定しました。

プログラム	
10:00-10:10	開会挨拶 比嘉 展寿(琉球大学大学院教育学研究科)
10:10-11:10	基調講演 令和の日本型学校教育とインクルーシブ教育 菊池 哲平(熊本大学大学院教育学研究科)
11:10-11:40	ポスター発表(前半)
11:50-12:20	ポスター発表(後半)
12:50-16:20	シンポジウム インクルーシブ教育のシステム構築のために、今、通常の学級でできること 話題提供者 ・小学校におけるUDLの実践 下條 満代(琉球大学教育学部) ・MIMの実践を中心とした小学校におけるユニバーサルデザインの取り組み 真喜屋 祥子(南城市教育委員会)、圓 歌苗(大里南小学校) ・授業UDの実践を通しみてきた教師の出番や役割 片岡 寛仁(小田原市立酒匂小学校) ・学びを教材化する教師の視点 小島 哲夫(那覇市立壺屋小学校) 指定討論・質疑応答 菊池 哲平(熊本大学大学院教育学研究科)
16:20-16:30	閉会挨拶 比嘉 展寿(琉球大学大学院教育学研究科)

子どもたちの多様な教育的ニーズに対応するために、通常の学級で何ができるのか？インクルーシブな学級づくりのために何ができるのか？を皆様と一緒に情報を共有できる機会となることを実行委員一同準備を進めてまいります。どうぞ、奮ってご参加ください。

## 沖縄あるある

### ●お墓の前で「ピクニック」?!

先祖崇拝がしっかりと根付いている  
沖縄では、4月初旬～5月初旬  
(旧暦の3月清明節の頃)に、

親族一同が集まって先祖のお墓参りをする「清明祭(シーミー)」の時期を迎えます。

県外に比べると沖縄のお墓は比較的大きいものも多く、敷地も10名から20名近くが座れる広いスペースがあります。さらに、お祈りの後、お供え物(重箱料理)をみんなで一緒にいただくことが恒例です。まるでピクニックのようです。さらに親族が久しぶりに再会するものですから、お酒も入って(オリオンビールとか)、大宴会となります。中には、墓地内でBBQをしたり、小さい子どもたちも参加してビンゴゲームを楽しむところもあります。年に一度、親族が集まり、楽しい笑顔に包まれている風景を、あの世のご先祖様も一緒に楽しんでいると沖縄の人たちは思っています。お墓の前でピクニック。沖縄あるあるでした。次回もお楽しみに。



### 事務連絡

《日程》 2025(令和7)年2月8日(土)～9日(日) ※2月8日は交流会のみ実施

《会場》 那覇文化芸術劇場なは一と+オンデマンド

《研究発表(ポスター発表)》 会場開催のみ

《参加申し込み》 会場参加(定員700名)

事前申し込み: 2024年9月2日(月)～2025年1月21日(火)

参加費納入期限: 2025年1月21日(火)

通常申し込み: 2025年1月29日(水)～2025年3月24日(月)

参加費納入期限: 2025年3月24日(月)

※「参加費の納入」をもって、申し込み完了とします。

お申込みはこちらから → <https://conference.wdc-jp.com/jald/ws2024/participant>

《特別支援教育士(S.E.N.S, S.E.N.S-SV)資格更新ポイントのお知らせ》

特別支援教育士資格更新規程に基づいてポイントが付与されます。

領域: 特別支援教育士資格更新規程第2条V領域

ポイント数: 参加者…2P

本研究集会の参加者ポイントについては、

- ・会場参加の方: 会場受付での来場確認
  - ・オンデマンド参加の方: オンライン会場へのログイン記録
- をもとにして運営事務局から特別支援教育士資格認定協会に申請します。